

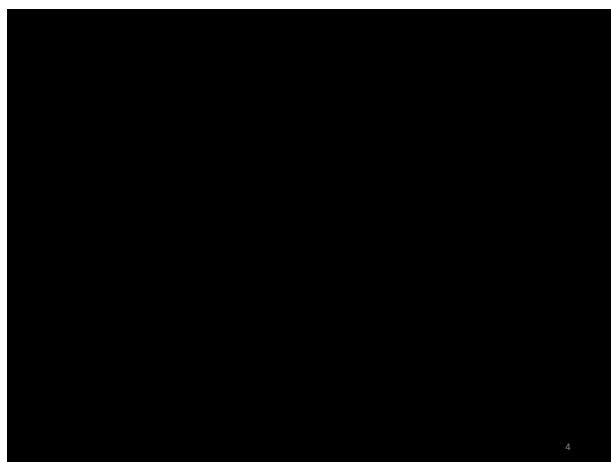
ジンバブエの憑依儀礼における 身心変容技法とンビラ音楽

名古屋大学文学研究科
博士研究員
松平勇二
miminimatsuhira@hotmail.com
<http://www.ugmatsuhira.com/>

1



2



4



ジンバブエにおける憑依文化

- ① シヨナ社会における霊媒師の役割(政治的、宗教的主導者)
- ② シヨナ族の霊(ムズィム)信仰の構造
- ③ 憑依儀礼の事例

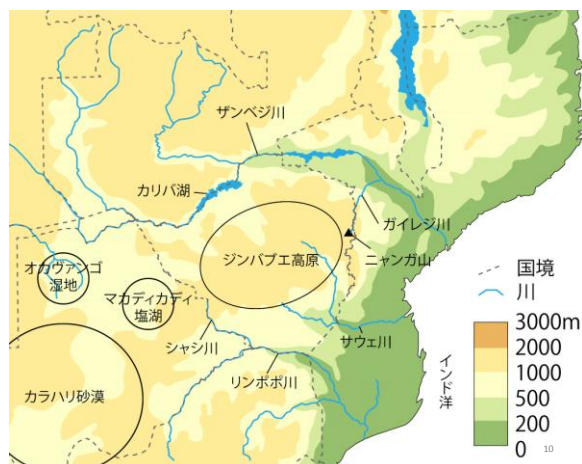
6

1. ジンバブエの社会と人々

ジンバブエの自然環境

7

8



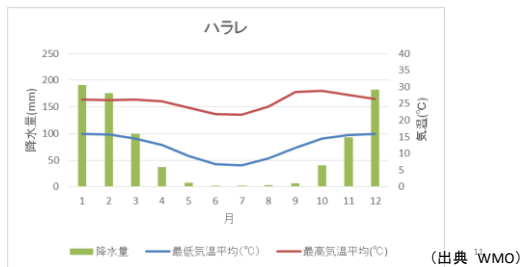
雨季(11-3月)

12-1月: 日本の梅雨並の降水量(名古屋6月降水量約200mm)

乾季(4-10月)

気温

高原地形により緯度の割に低温: 冬季には霜による作物の被害





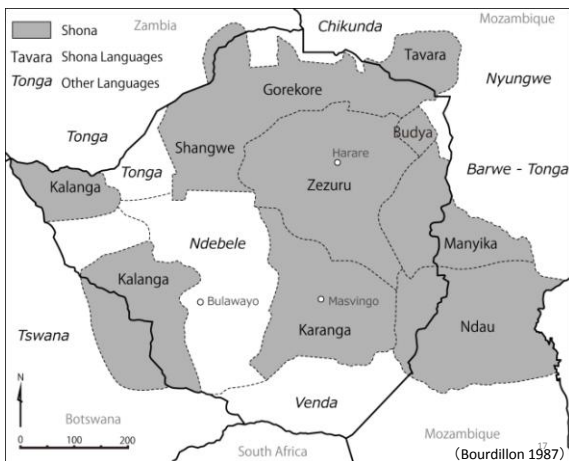
民族構成と生業

民族構成

- 人口 13,771,721人
- 民族構成（アフリカ人98%、その他2%）
シヨナ82%、ンデベレ14%、その他アフリカ人2%
混血とアジア人1%、白人1%未満
- 言語
英語（公用語）、シヨナ語、ンデベレ語
- 宗教
混淆（キリスト教+土着宗教）50%、キリスト教25%、土着宗教24%、イスラームその他1%

15

（出典 CIA The World Factbook 2014）



ジンバブエの生業と産業

人口の約7割が農村部に居住（The World Bank 2012）

- 農業
主食：トウモロコシ、シコクビエ、ミレット、ソルガム
換金作物：タバコ、綿
- 牧畜
ウシ（婚資、役畜、貯蓄）、ヤギ、ヒツジ、ニワトリ、ウサギ
- 鉱工業・・・輸出額の約50%（UN Data 2013）
金、ニッケル、クロム、ダイヤモンドなど

18

農耕民シヨナ



歴史環境

22

Zimbabwe=Zimba remabwe (the castle of stones: 石の城)
13世紀シヨナ国家



ジンバブエ高原の歴史環境

- 狩猟採集民時代(～紀元元年)
- 北部からバントゥ系民族(農耕+牧畜)の到来(紀元元年ごろ)
- バントゥ系民族の国家形成(10世紀ごろ)
- ショナ国家(13～19世紀前半)

25

- イギリス南アフリカ会社(特許会社)によるジンバブエ高原侵略(1890)
- 英植民地「ローデシア」・・・「ローズの国」

→アフリカ人に対する小屋税の課税、土地収奪、家畜の没収など(Ncube 2004:67, Rasmussen & Rubert 1990:48)

→アフリカ人労働力を用いた資源、農場開発

- 人種差別国家「ローデシア」(1965-79年)
- ジンバブエ共和国(1980年～)

26

アフリカ人解放闘争「チムレンガ」①

1896-97年 インデベレ、ショナによる武力蜂起

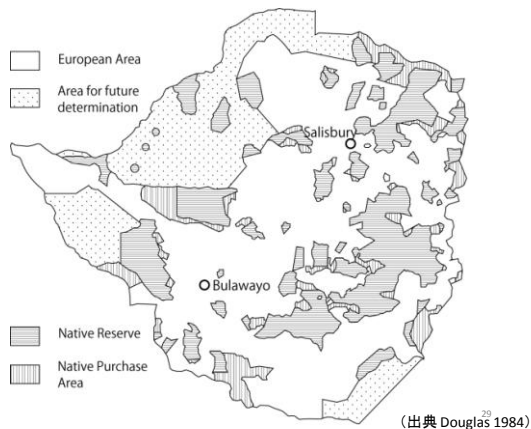
ショナ人主導者: グンボレシュンバとチャルウェ
→それぞれカグウィ霊(ムレンガ霊)、ネハンダ霊の霊媒師
(Beach 1979, Douglas 1984)

結果: ローデシア勝利
→人種差別支配(土地、経済、政治)、西洋化(キリスト教)

27



1930年の土地配分法による人種隔離



29

アフリカ人解放闘争「チムレンガ」②

1966-1980 北西部チノイで武力衝突が勃発

目的: 民主化、多数派アフリカ人支配への移行

主導者: アフリカ人解放組織(ZANU, ZAPU)

- イデオロギー: 共産主義、打倒人種主義
- 政府の弾圧により、拠点を国外へ
- ゲリラ作戦・・・国外から侵入、農村部でゲリラ戦
- 戦略・・・農村民衆の支持獲得、政治教育
- 民衆の支持獲得・・・霊媒師との連携(Lan 1984)

30

シヨナ社会における霊媒師

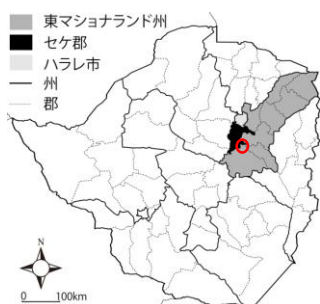
- シヨナ族による約700年間のジンバブエ高原支配
- イギリスによる植民地化と人種差別支配
- シヨナ族霊媒師主導の抵抗闘争(1896-7)
- アフリカ人解放組織 & 霊媒師主導のアフリカ人解放闘争(1966-80)

ジンバブエ近代史における霊媒師の重要性

31

2. シヨナの霊(ムズィム)信仰

シヨナ社会における霊とはなにか
—セケ郡南部リンガ村、マササ村の宗教思想



33

霊(ムズィム)とは

「ムズィム」(*mudzimu*): 闇にあるもの、霊、祖霊

「メボ」(*mhepo*): 風、空気、霊

「アリ・クメボ」(*ari kumhepo*): メボ界にあるもの

「ムウェヤ」(*mweya*): たましい、息

八百万のムズィムとその分類

32

ムズィムの分類

霊分類 (シヨナ語)		性質	霊の固有名		憑依
天空神霊	空気霊 <i>mhupo</i> (pl. <i>mhepo</i>)	天空神 (唯一神)	Musikavanhu Mwari Nyadenga Nyamvura	人間の創造者 種まく人? 天人 雨人	×
		天空霊	Chaminuka Nehanda Birinaganyire Chitsachegoreなど	意味不詳 意味不詳 ヒリとガニレ 雲の根	○
祖霊	ライオン霊 <i>mhondoro</i> (pl. <i>mhondoro</i>)	氏族霊	Musanyange Chigonga Machengoなど	静かに歩かない 意味不詳 意味不詳	○
	大祖霊 <i>tateguru</i> (pl. <i>mdzitataguru</i>)	家族霊	Kaseke Muzanenhamo Gandidzanwaなど	セケ氏族の人 意味不詳 意味不詳	○
その他	能力霊 <i>shavi</i> (pl. <i>marshavi</i>)	動物霊 外国人霊 未浄化霊	Shovanepasi Ambuya Mariaなど	意味不詳 マリアばあさん	○/×

35

シヨナのムズィム信仰

- 全能の「創造者」(Musikavanhu)
世の中のすべての現象を支配
人間による接触は不可能
- 人間と創造者の仲介としてのムズィム
憑依を通じて人間と接触
直接の崇拜対象
守護霊としての父系氏族祖霊

36

霊媒師 (spirit medium) とは

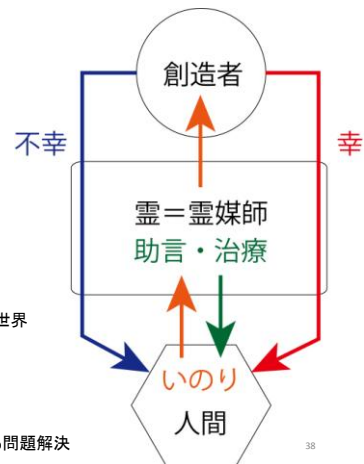
「到着されるもの」: *svikiro* (pl; *masvikiro*)
 →「～に到着する」(-*svikira*)
 ……霊が人間の体に到着する

「ポケット」: *homwe* (pl; *homwe*)
 →「ポケット」……霊が入り込む「ポケット」

特定の霊が、特定の霊媒師に繰り返し憑依
 憑霊中、霊媒師の意識、記憶はない
 霊の性質によって能力が異なる
 →雨乞い、病気治療、予言、首長任命、慣習法

憑霊によって霊媒師の人間性が変化

37



<ムズィム信仰>

創造者(唯一神)を頂点とする霊世界

霊世界による人間への作用

霊との直接会話による問題解決

霊を解した創造者への祈りによる問題解決

38

3. リンガ村の霊媒師誕生儀礼

霊媒師の誕生

- 霊による人間の憑依は、いつ、誰に起こるか分からない
- 憑依の兆候:
 しゃっくり、原因不明の体調不良、不幸の連続
 →不幸の原因は霊界(メボ)からの目に見えない力
- 親族代表による呪医(*n'anga*)との相談
 →親族に対する霊からのメッセージ
- 霊媒師誕生儀礼の開催
 →霊の正体を確定 = 特定の霊の霊媒師が誕生
 →霊との議論(*dare*)による問題解決

39

40

呪医 (*n'anga*)

• *N'anga*(ンアンガ): 治療者
 薬(*mushonga*)を用いて、病気や社会の問題を解決

• 憑依
 憑依されるもの、憑依されないものの両方

• 性別
 男女とも

41

チャタ地域の呪医

- ニヤンドーロ氏族(Nyandoro):
 ゾウをシンボル
- 女性
- ニヤンドーロ氏族男性祖霊の霊媒師
- 人間の手におえない霊的問題
 →霊(霊媒師)による解決



42

霊媒師誕生儀礼

1. 清めの儀礼 (*kugeza mudzimu*: ムズィム洗い)
 - 憑依の兆候が見られる親族の体を清める儀礼
 - ニヤンドーロ氏族祖霊との議論(憑依儀礼)
→ 霊媒師・・・人間の手に負えない霊的問題を解決
→ 第二儀礼の準備
2. 議論 (*dare*: 霊との議論)
 - ニヤンドーロ氏族祖霊を中心とする議論(憑依儀礼)
兆候の見られる親族への祖霊憑依促進と病気の原因究明

43

リンガ村のある事例

- 2001年6月4日
- 発端: あるライオン氏族一家に起こった不幸(体調不良)
- 原因: 祖霊からの何らかのメッセージ?(憑依の予兆)
- 親族代表者→呪医との議論
→「ムズィムを作る儀礼」(*kugadzira mudzimu*)

44

清めの儀礼(第一日目)

- (1) 呪医宅に集合
 - 参加者: ライオン氏族親族、友人、呪医、ンビラ奏者(筆者と師匠サムソン・ブーレ)
- (2) 清め準備
 - 清めの薬調合、清めの鶏の準備、祖霊への祈り
- (3) 清め (*kugeza mudzimu*)
- (4) 議論(第二儀礼の準備)
 - 呪医の祖霊との直接会話

45



清め準備

49



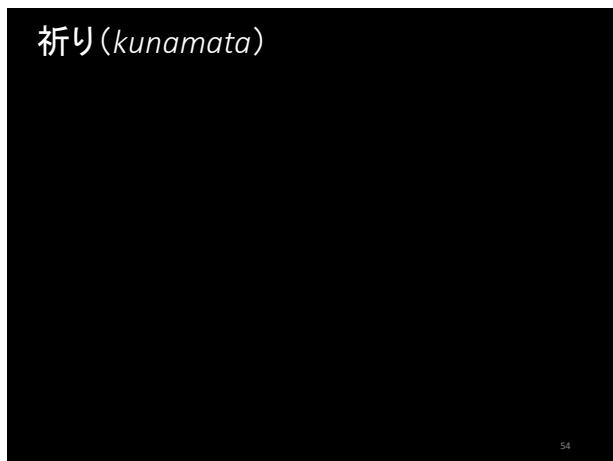
50



51



53



54

儀礼を取り仕切る呪医の祖先に対する祈りの言葉

ニヤンドーロ氏族の祖先よ
お願いがあります
ここに清めを受けたい人々がいます
これから私達は清めの儀礼のため、川へ向かいます
われわれを(成功へ)お導きください
ここにあなたへのささげものがあります
あなたのもとを頼ってきたライオン氏族の〇〇家の皆を清めるためのささげものです
彼らも、あなたの子どもたちを、解放し給え。彼らはこのように救済をもとめています
彼らの人生には不幸と病があります
彼らはあなたに救いを求めています
また、彼らを訪れようとしている(霊的な)ものがあります
それを解き放って、この世へ出してください
そしてその霊が伝えようとしていることを話させてください
(祖先の無言の返答を感じて)
そうです、ニヤンドーロ氏族の祖先よ
もし、大昔に呪い(ジクワンボ)をほどこした人物がいたのなら、その人が???しているのかもしれませんが
ニヤンドーロ氏族の祖先よ、どうかこの問題を解決してください
どうか???や偉大な女性の祖先たちにも、(私達を支援してくれるよう)お伝えください
ルルルルルル(女性)

55

清め

56



清め (kugeza mudzimu)

59





議論

62

議論 (*dare*)

63

議論の結果

- 第二儀礼の開催日程決定
- ライオン氏族一家の準備品
酒、嗅ぎタバコ、など
- 呪いの現れた男性への一か月の薬服用

64

第二儀礼(三週間後)

目的

- ライオン氏族の不幸の原因究明
 - 清められた親族に新たな霊を迎え、不幸の原因を尋ねる
 - ンピラ、民謡の合唱による憑依の誘発
- 憑依の発生→霊の正体の究明→一族の系譜などを問う
→承認→問題の原因究明

65

第二儀礼の内容

- (1) 呪医の祖先に対する祈り
- (2) ンピラ演奏
- (3) ニヤンドーロ氏族祖霊による呪医の憑依
→酒、嗅ぎ煙草の献上
- (4) ライオン氏族親族に憑依が起こるまで、ンピラの演奏、民謡の合唱を繰り返す

66

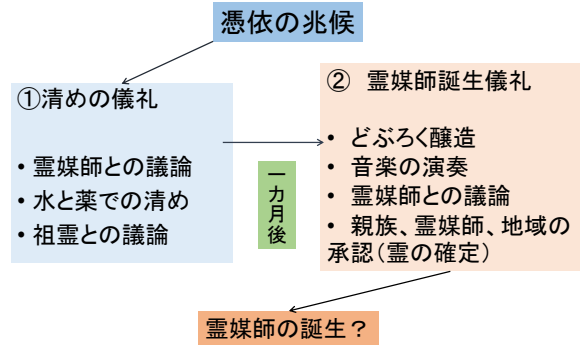
第二儀礼の結果

- ライオン氏族青年に霊が憑依
→叫ぶことなく、ふらつくこともなく、多少の声をあげて、踊った
 - ライオン氏族親族
→「また悪霊がきた！」
 - ニヤンドーロ氏族祖先
→青年の頭に布をかぶせ、香をたいて除霊
 - ライオン氏族友人
→儀礼の進行が慣習違反であることを指摘
→たとえ悪霊でも丁寧に迎え、青年に憑依した理由を問わなければならない・・・清めが終わった後で悪霊が来るはずはない
- ライオン親族の意図・・・青年ではなく、別の人物に霊が降りてほしい
→友人の指摘で儀礼は失敗

地域の承認＋親族の承認→霊媒師誕生

67

霊媒師誕生儀礼の行程



シヨナ社会における霊媒師

- 解放闘争主導者、支援者としての霊媒師
- 霊媒師・・・農村地域の宗教的、政治的指導者

69

70

まとめ

シヨナ霊信仰

- 全能の創造主
- 創造主と人間を仲介するムズィム
- 人間とムズィムの直接会話を可能にする憑依

71

霊媒師誕生儀礼

- 親族の不幸・・・祖霊からのメッセージ、呪い
- 第一儀礼: 清め、呪いの除去
- 第二儀礼: 新しい霊の召喚、新しい霊から問題を聞く
- 憑依、霊の信ぴょう性の地域的承認

72

参考文献, URL

書籍、論文

- Bourdillon, M.F.C. 1987 [1976] *The Shona Peoples Revised Edition*. Mambo Press
- Beach, D. N. 'Chimurenga': The Shona Rising of 1896-97. *The Journal of African History*, Vol.20, No.3, 1979. 395-420
- Douglas, R.G.S. 1984 *Zimbabwe Epic*. National Archives of Zimbabwe
- Lan, David 1985 *Guns & Rain Guerrillas & Spirit Mediums in Zimbabwe* University of California Press
- Rasmussen, R. K. and Rubert, S. C. 1990 *Historical Dictionary of Zimbabwe*, Scarecrow Press

ウェブサイト

- CIA the World Factbook
<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/zi.html>
(2015/01/13)
- The World Bank <http://data.worldbank.org/country/zimbabwe> (2015/01/13)
- UN Data (Country Profile: Zimbabwe)
<http://data.un.org/CountryProfile.aspx?crname=Zimbabwe> (2015/01/13)
- WMO World Weather Information Service
<http://worldweather.wmo.int/en/city.html?cityId=263> (2015/01/13)

73